



平成27年10月29日

各位

上場会社名 デジタルアーツ株式会社
 代表者 代表取締役社長 道具 登志夫
 (コード番号 2326)
 問合せ先責任者 取締役 管理部長 赤澤 栄信
 (TEL 03-5220-1160)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月8日に公表した平成28年3月期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,794	300	301	181	13.09
今回修正予想(B)	1,935	497	499	314	22.64
増減額(B-A)	140	196	198	132	
増減率(%)	7.8	65.2	65.9	73.1	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成27年3月期第2四半期)	1,610	338	359	210	15.20

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,800	910	910	548	39.48
今回修正予想(B)	3,950	1,000	1,003	577	41.60
増減額(B-A)	149	90	92	29	
増減率(%)	3.9	9.9	10.2	5.4	
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	3,402	865	910	531	38.27

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,793	467	289	20.87
今回修正予想(B)	1,933	658	437	31.47
増減額(B-A)	140	190	147	
増減率(%)	7.9	40.8	50.8	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成27年3月期第2四半期)	1,605	405	254	18.36

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,765	1,224	759	54.68
今回修正予想(B)	3,915	1,399	924	66.58
増減額(B-A)	149	175	165	
増減率(%)	4.0	14.3	21.8	
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	3,395	926	573	41.34

修正の理由

■個別

【第2四半期(累計)】

特定の組織を狙った標的型攻撃や組織内部関係者による情報漏洩など、企業等が直面するリスクが巧妙化・複雑化する中、従来型の「外部からの攻撃」に対するセキュリティ対策から「内部からの情報漏洩」に対するセキュリティ対策へのニーズが高まっております。このような状況を背景として、弊社主力製品の販売が想定を上回る水準で推移したこと等により、売上高は1,933百万円(前回発表予想比140百万円、7.9%増)、経常利益は658百万円(同比190百万円、40.8%増)、四半期純利益は437百万円(同比147百万円、50.8%増)となる見通しです。

【通期】

第3四半期以降においても、足元の状況が継続するものと予想されることから、通期業績見通しを修正いたします。売上高は3,915百万円(同比149百万円、4.0%増)、経常利益は1,399百万円(同比175百万円、14.3%増)、当期純利益は924百万円(同比165百万円、21.8%増)となる見通しです。

■連結

【第2四半期(累計)】

当連結会計年度において、海外展開に対して戦略的先行投資を行う事を踏まえ、第2四半期連結累計期間については減益の見通しでしたが、上記の通り国内販売が好調に推移したこと等により増益となりました。

売上高は1,935百万円(同比140百万円、7.8%増)、営業利益は497百万円(同比196百万円、65.2%増)、経常利益は499百万円(同比198百万円、65.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は314百万円(同比132百万円、73.1%増)となる見通しです。

【通期】

国内販売については引き続き好調に推移するものと予想されます。加えて、国内外のグローバル企業が弊社製品の導入を検討する案件が増加していることをうけ、前回発表予想を上回る売上を原資として、現在の日本、北米のみならず、アジア地域、欧州地域のグローバルでの販売・サポート体制構築を前倒しで進める予定です。

売上高は3,950百万円(同比149百万円、3.9%増)、営業利益は1,000百万円(同比90百万円、9.9%増)、経常利益は1,003百万円(同比92百万円、10.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は577百万円(同比29百万円、5.4%増)に通期業績見通しを修正いたしました。

【注意事項】

上記に記載しました予想数値は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上